

施策番号	2702		
施策名	環境負荷の少ない水道・下水道の構築		
概要	琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担う都市として、下水道の整備を推進し、市内河川と下流水域の水質の向上を図る。また、上下水道事業全般において、一層の省エネルギー対策や資源の有効利用に努める。		
担当局・部室	上下水道局・技術監理室、下水道部	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン 京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	合流式下水道改善率(%)	a	a	63.1	63.1	66.2	95.3%	e	1.00
2	温室効果ガス排出量削減率(16年度比)(%)	a	a	18.2	19.3	11.6	166.4%	a	1.00
3									
4									
5									
6									
		a	a	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都の河川は水がきれいで、水辺に 親しみやすい。	a	b	120 25.4%	231 48.8%	93 19.7%	22 4.7%	7 1.5%	473
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	b	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a	
(重み付けの理由) 上下水道サービスを支えている浄水場や管路などの上下水道施設は、普段市民の皆様に意識されにくく、その整備の成果がすぐに市民実感につながりにくいものであるため						29年度
(原因分析) 客観指標総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 合流式下水道改善率については、地盤条件の影響により合流改善施設の整備工事が遅れたため、目標を達成しなかった。						A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度
						A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	水道事業	63,033,316	55,862,000	—	上下水道局
2	公共下水道事業	93,124,012	98,780,000	—	上下水道局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市上下水道事業中期経営プラン（2018－2022）に基づき、高度処理や適切な水質管理により下水処理水質の維持・向上を図るとともに、貯留管等の整備による合流式下水道改善を推進する。また、太陽光発電等による創エネルギー対策や高効率機器の導入などを実施し、温室効果ガス排出量の削減を図る。

施策名	2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築				
指標名	合流式下水道改善率（％）					
担当課	計画課		連絡先	6 7 2－7 8 3 9		
1 指標の説明						
合流式区域面積に対する合流式下水道改善済面積の割合（汚水と雨水を同じ管路で排除する合流式下水道において、降雨時に河川へ流出する未処理下水やごみ等を削減する改善対策を実施し、良好な水質や景観を守る取組を推進している。）						
2 指標の意味						
雨の日に河川へ未処理下水やごみ等が流出するのを防ぐ下水道整備の状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			算出方法：合流式下水道改善済面積÷合流式区域面積×100			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	63.1	63.1	増減なし	66.2	上下水道局運営方針・事業推進方針	95.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		66.2	29年度	88.6%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2013-2017)※達成度は改善度を記載 ＝（最新数値-平成24年度数値(39.0)）／（中長期目標数値-平成24年度数値(39.0)）	
5 評価基準						
最新数値と目標値を比較して a：目標値以上 b：目標値未満で改善度80%以上100%未満 c：目標値未満で改善度50%以上80%未満 d：目標値未満で改善度50%未満 e：現状維持			6 基準説明			7 評価結果
			目標値達成を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。 ※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100			
						28 29 30
						a a e
指標名	温室効果ガス排出量削減率（16年度比）（％）					
担当課	監理課		連絡先	6 7 2－7 7 4 4		
1 指標の説明						
上下水道事業における温室効果ガスの排出量の削減割合（上下水道局では、環境マネジメントの継続的な取組、省エネルギー対策、太陽光などの未利用エネルギーの活用、下水汚泥などの再利用可能な資源の有効活用を図り、地球環境対策に取り組んでいる。）						
2 指標の意味						
温室効果ガス排出量の抑制に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	18.2	19.3	1.1ポイント増	11.6	京都市役所CO2削減率先実行計画（平成32年度までに市役所全体で温室効果ガス総排出量を平成16年度から25％以上削減することを目指した上下水道事業における目標値）	166.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：50%以上80%未満 d：30%以上50%未満 e：30%未満			6 基準説明			7 評価結果
			目標値を上回る可能性もあるため、単年度目標に対する達成度が100%以上をaとし、以下5段階に基準を設定した。			
						28 29 30
						a a a